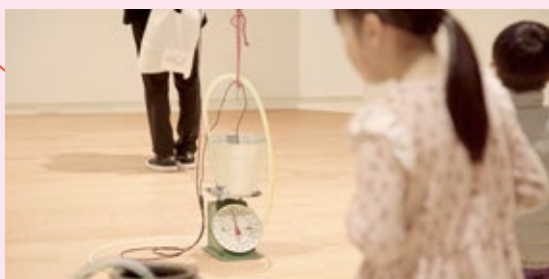
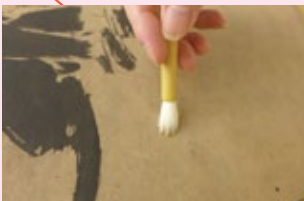


# ESPLANADE

FUKUOKA ART MUSEUM



大解剖！  
美術館の舞台裏

所蔵品紹介

「大きくて単純なもの」を求める、画家の眼差し



見 て から 読 む か

読 ん で から 見 る か

黒い上着と裾の膨らんだズボンを身につけた人物が、ふっくらした両腕を伸ばして大きな荷物を頭の上に掲げています。表情は真剣で、口を一文字に結び、丸い目を見開いて真っ直ぐにこちらを見据えています。この作品の画材は、黒と朱の淡墨です。淡墨で線を描くと、線の周囲に「にじみ」が生じ、また線と線の境界に淡いグラデーションができます。その為でしょうか。画面上部の荷物は雲のような質感になり、その軽やかさと真剣な表情とのアンバランスがおかしみを感じさせます。赤ちゃんが頑張って何かを持ち上げ、誇っているような愛らしさです。作者の甲斐巳八郎は伝統的な日本画の手法を学んだのちキャリアを積みますが、1957年以降、再興日本美術院展への出品をやめます。そして、「蒙古の草原のように大きくて単純なもの」を求め、にじみの風合いや素朴なフリーハンドの線を生かした水墨画を手がけ始めました。晩年には新たな主題を求めて中央アジアを訪ね、1972年から75年の間にアフガニスタンに赴きました。本作の画題であるアフガニスタンの遊牧民「クチ族(クーチス族)」とはそこで出会ったはずですが、《題不詳(クチイ)》は画面の3分の2が黒の墨で占められているにも関わらず、圧迫感を感じさせません。淡墨によ

る表現が、旅先で出会ったモチーフへの愛着を示しています。真正面からこちらを見つめる目の表現は、甲斐自身の眼差しと重なります。甲斐は美術学校卒業後、1930年に旧満州に渡り、翌年から植民地統治下にあった現地の風俗を調査して絵と文で伝える仕事をしていました。現地の人々の様子を伝えるカットの隅に、彼は名前の頭文字「巳」の変形にも見える目のマークを書き付けていました(図版参照)。本作はそれから40年の時を経て描かれていますが、混乱した政治情勢のなかで人々の営みを興味深く見つめてきた観察者の眼差しが晩年も健在であったことを示しています。

本作はコレクション展示室 近現代美術「抽象と具象のあいだー甲斐巳八郎を中心に」で出品いたします(9月1日(火) - 10月25日(日) 近現代美術室B)。

学芸員(近現代美術担当) 忠あゆみ



甲斐巳八郎《繡花を運ぶ者》、「協和」第45号(昭和6年3月1日発行) 中山喜一朗「資料紹介」満州の甲斐巳八郎 雑誌「協和」掲載挿絵・執筆記事①、福岡市美術鑑賞会第4号、2016年所収)

《題不詳(クチイ)》

甲斐巳八郎

KAI Mihachiro

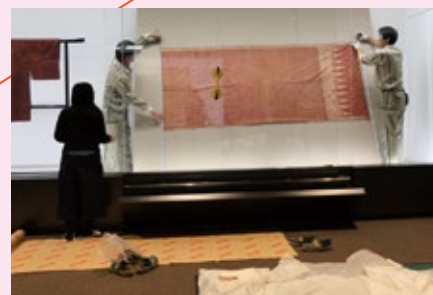
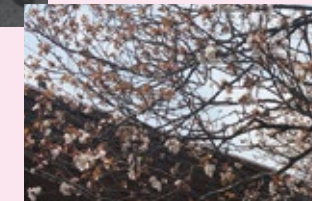
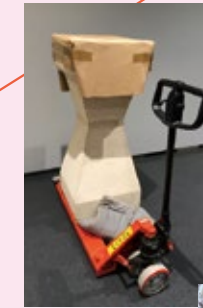
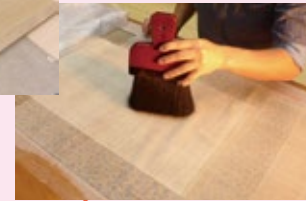
DATA

生没年 1903-1979  
制作年 1970年代  
技法・素材 紙本着色  
サイズ 72.5 × 48.0cm  
寄贈 2019年 横山幹生氏寄贈



# CONTENTS

- 00 見てから読むか、読んでから見るか  
甲斐日八郎  
《題不詳(クチイ)》
- 04 ミドコロドコ?番外編  
展示の舞台裏をのぞいてみる
- 06 修復現場の舞台裏  
《風神像》  
河津嘉三《らんぶのある静物A》
- 08 学芸員の「早く見せたい!」  
《青磁子抱人形》
- 09 森のたねのこうさく  
おすもうさんの追いかけっこ
- 10 エスプラナード200号記念エッセイ  
わが青春のエスプラナード
- 11 LECTURE / FEATURE
- 12 CALENDAR / TIPS



記念すべきエスプラナード200号は、コロナ・パンデミックの影響で世の中も美術館も大きな変化を余儀なくされるなかで生まれました。美術館で作品を見ていただく。たったこれだけのことができない、という事態に数か月直面し、日常がいかに奇跡的なバランスの上になりたっていたのかを、しみじみ感じました。

「たったこれだけ」の、しかし美術館にとって根幹をなす活動ができなくなったら、どうするか。いづこも同じかもしれませんが、オンラインで美術、あるいは美術館の香りを届けようと、「#会えないなら、つながろう」とハッシュタグをつけてSNS等で発信する「オンライン大作戦」に着手しました。作品という決定的な存在がないままに美術を伝えようとする時、そのギャップを埋めるのは、結局、作品や美術について、なんとかして伝えたいと願う「ひと」の熱意でしかない、というのがやってみた感想です。

「とにかく作品を見てください」とは言えなくなった時に、じたばたともがいた記録の痕跡が、今号にもうっすらと見えるかもしれません。その意味で、今号は時代の貴重な証言になりそうです。

館長 岩永悦子

## 一番大きな作品のお引越し

ラファエル・コラン《海辺にて》は前回から引き続き、同じ室内での展示ですが、場所が変わります。当館で最も大きな絵画作品(297.0×446.0cm)なので、少しの移動であっても多数の人員と、慎重さを要求されます。



## 最近仲間入りのあの作品も…

インカ・ショニバレ CBE《桜を放つ女性》は3月26日より近現代美術室 A にて展示しましたが、今回の展示替えて、C 室に移動。1か月前に作業したばかりだから、と油断は禁物。慎重に作業を進めました。



クロード・ヴィアラ《無題》は既存のシートを使った作品。昨年から展示していましたが、長丁場の展示を終えて、今回撤去。布の作品なので、重くはないですが、折り目にしただけじゃいけないように折たたみ、専用の箱に格納しました。天井が寂しくなる？ いえ、実は工藤哲巳《殺せば生きる》(寄託作品)を吊るして展示したので、また天井付近にも注目してください。



## 展示場所は壁のみにあらず



## 覚えていますか？ 平成元年

元号が昭和から平成に変わった1989年。日本広告写真家協会 (APA) が企画したプロジェクトが「平成元年の日本人像」です。平成元年に生きた日本人の記録といえます。昨年、平成が令和に改元されたことにちなんで、久しぶりにお目見え。ほぼ等身大のサイズなので、そこに人が立っているように、写真パネルをやや低めに展示しました。

## 展示の舞台裏をのぞいてみる

**通称**  
**大展示替え**

約 2か月に1回の周期で行われる通常の展示替えと異なり、今回は3室ある近現代美術室すべてが対象。主要なコレクションであるダリ、ミロ、ウォーホルといった絵画、そして容易には移動の出来ないキープアー、カーブアといった大型彫刻はそのままですが、それ以外の作品はほとんど(約8割)入れ替えてしまうことにしました。昨年3月にリニューアルオープンして以降、A室前半部分とC室では「コレクションハイライト」と題して、ダリ他主要な作品を展示してきましたが、当館コレクションの神髄は昨年分の展示だけでは到底紹介しきれるものではないからです。

さてどのような展示会においても、展示プランなど事前の入念な準備が必要なのはいうまでもありません。コレク

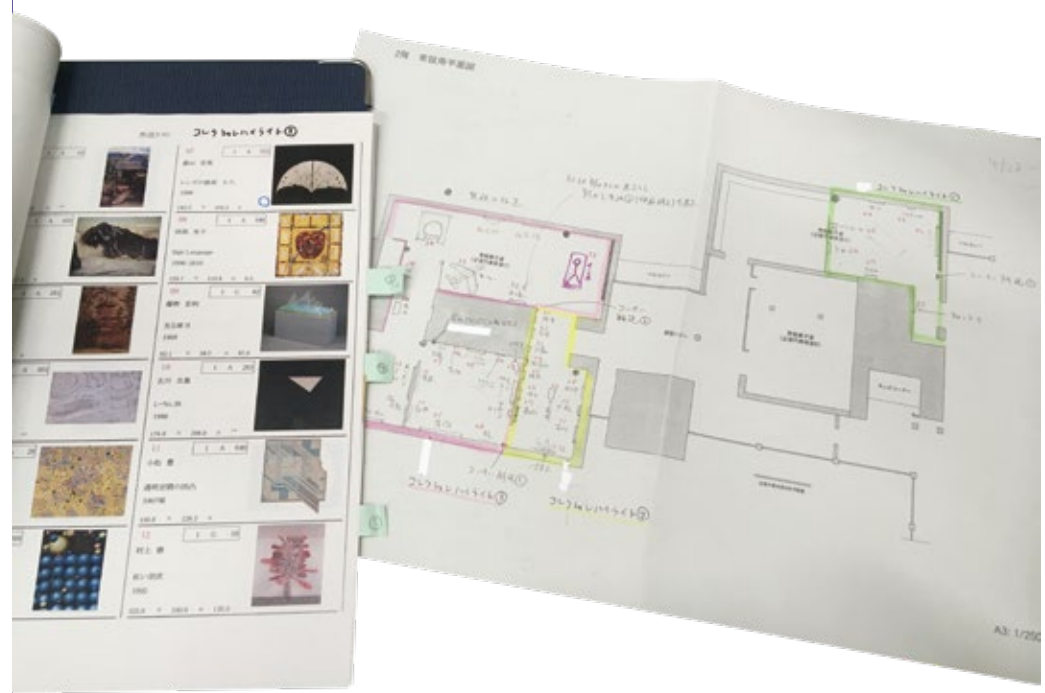
ション展でもそれは同様で、特に今回のように作品数が多い場合、なんども展示室と収蔵庫を行ったり来たりするわけですが、部屋ごと、収納場所ごと、そして大きさに効率よく作業が行えるよう、作品リストを整理しておきます。

展示にあたっては組み立て作業が必要な作品もあります。事前のパーツ、マニュアルの確認はもちろん、現場できちんと作業できるかどうか重要です。今回作業を依頼した美術品輸送専門業者のスタッフは経験豊富で信頼も置けますが、それでも複雑な展示作業を伴う作品に関しては、手順や注意点を細かく伝えることが必要です。そのためは、当たり前ですが、私たち自身が作品ひとつひとつについて、熟知し、展示の経験を積んでおかなければなりません。

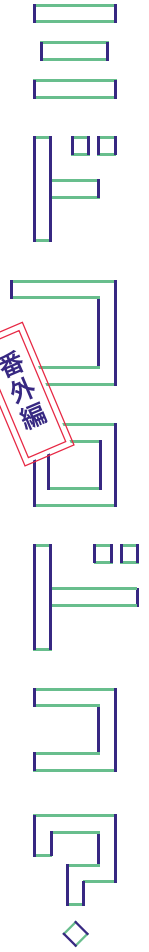
展示替え作業は、若い世代の学芸員にそうした経験を積んでもらう場でもあります。

学芸係長(近現代美術担当) 山口洋二

「学芸員さんって休館日の月曜日はお休みなんですか？」お客様からいただくことの多い問合せですが、いえいえ、当館の場合はそんなことはありません。館内の設備点検など、休館日にしかできないことはたくさんあり、なかでも最も大事な作業のひとつがコレクション展の展示替えです。いつ来館されても新鮮な気持ちで展示をご覧いただけるよう、定期的に行っています。今回はいつもより規模が大きい「大展示替え」をご紹介します。



展示替えのために作成したリストや図面の一部



番外編

# 修復現場の舞台裏

福岡市美術館が所蔵する作品は約16,000点。それらを確実に未来へ伝えるために絶対に欠かすことができないのが作品修復です。修復によって作品の健康状態が改善されるのはもちろんですが、「どんな材料が使われているのか?」「どのような構造なのか?」などなど普段知ることのできない様々な情報が得られることもあります。ここでは、そんな修復現場の舞台裏をほんの少しだけご紹介いたします。



1

**DATA**  
 作品名 風神像  
 時代世紀 鎌倉時代 14世紀  
 技法 寄木造  
 サイズ 像高 59.6cm  
 コレクション 松永コレクション

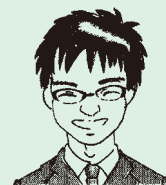
## 危険の芽は早く摘みとるー仏像の修復

木彫像の技法は一本の木から丸彫りする一木造と複数の部材を組み合わせる寄木造の2つに大別することが出来ます。この風神像は寄木造による制作。これにより、腕を広げて足を踏み出す躍動感あふれる姿が実現されています。寄木造は一木造に比べて表現の幅が広い一方で、構造の強度では劣ります。

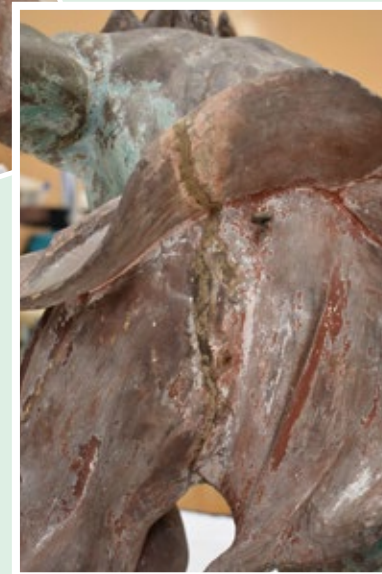
す。というのも、部材の接合部(矧ぎ目)は時間の経過とともに緩んでしまうからで、部材が外れてしまうこともしばしば。ひどい場合には自立できなくなったり、バラバラになってしまうこともあります。それを防ぐためにも作品の健康状態を常に把握し、危険があれば早めに対処することが重要です。



修復前



**宮田太樹**  
 学芸員(古美術担当)  
 実際に修復を行う仏師さんと協議しながら慎重に作業を進めました



修復後

これは、風神像の後ろ姿です。腰から臀部にかけて隙間が空いているのが分かります。これは体幹部を構成する左右2つの部材が時間の経過とともに歪んだことが原因と考えられます。今回の修復では隙間に補足材を入れた上で、木屑と正麩糊(小麦粉のデンプンを主成分とする接着剤)を混ぜたペースト(糊木屎)を充填する処置を行いました。他の矧ぎ目にも糊木屎を充填し、全体の構造強化を図っています。また、今回の修復に際して像を細かく観察した結果、過去に何度か修復を受けており、肩・肘・膝の角度が変更されていることが分かりました。



2

**DATA**  
 作品名 らんぷのある静物A  
 作者名 河津 嘉三  
 制作年 1952年  
 素材・技法 油彩・画布  
 サイズ 73.1×91.5cm  
 寄贈 2005年 河津和子氏寄贈

## 正解が一つとは限らないー油彩画の修復

油彩画の修復をしていると、時間の経過を感じさせる痕跡にしばしば出会うことがあります。それは下描きや構図の修正といった制作工程だけでなく、制作後の自然劣化、人為的な加筆なども含まれます。痕跡から得られる情報は沢山あります。今回修復した本作も例に漏

れず、多くの痕跡を見つけることが出来ました。制作後の痕跡を保存するという行為は、制作してから現在までの時間を肯定することにも繋がります。痕跡を残すこと、正解という訳ではありませんが、処置する場合はより慎重にならなければいけません。



修復前



**渡抜由季**  
 学芸員(近現代美術担当)  
 作品の保存修復が専門。  
 この作品の修復作業も私が行いました

本作品には全体的に亀裂があり、部分的に絵具の浮き上がりや剥落箇所が見つかりました。左の部分図からもわかる通り、画面の中央部分はキャンバスが破れ、周辺の剥落の上から直接油彩で加筆された跡が残っていました。この加筆はオーバーペイントとも呼ばれており、この処置内容や書きぶりからおそらく作家によるものだろうと推定しました。このような加筆は時に貴重な記録になりえるのですが、このままでは作品そのものの強度を保つことが難しかったため、今回は加筆を除去した上で補強することにしました。外観上も不自然にならないように調整し修復を終りました。



修復後

# 森のたねのこうさく おすもうさんの 追いかっこ

森のたねのおともだち  
～福岡市美術館 WS制作 オーギカナエ

みなさん、福岡市美術館のキッズスペース「森のたね」に来たことはありませんか？  
その制作者であるアーティスト・オーギカナエさんが、おうちで過ごさないといけない  
子どもたちのために、夏休みにぴったりの工作を考えてくれました！  
森のたねのキャラクターおすもうさんが、森の仲間たちと巨大ソフトクリームのところ  
ドスコイ、ドスコイと登ります。ぜひ、作って楽しんでみてください。

この内容はYouTube 動画でも配信しています。くわしい作り方は動画も参考して下さい  
<https://youtu.be/rsEDSW1Yfts> もしくは  で検索



キッズスペース

みんがう

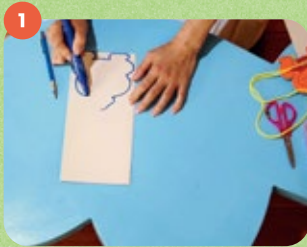
## オーギカナエ



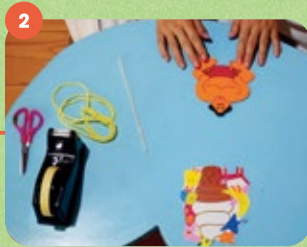
国内外で作品発表、ワークショップも手掛けるアーティスト。当館キッズスペース「森のたね」も制作。

## 準備 するもの

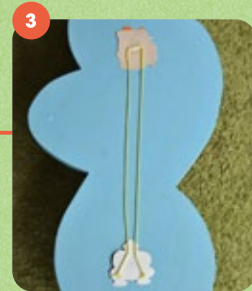
- 厚紙 約 27cm × 14cm
- 毛糸 約 120cm
- ハサミ
- セロテープ
- シール色紙、またはカラーマジックや色鉛筆
- ストロー 毛糸が通る普通サイズのもの
- 下書き用の鉛筆など



厚紙の下半分におすもうさんの絵を描きます。薄くえんぴつで下書きをした後、太いマジックでなぞり描きをしましょう。



色鉛筆や絵の具で色を塗ってもいいですが、今回は色が鮮やかで便利なシール色紙を使いました。まわしや髪の毛、顔など、マジックで描いた線が透けて見えるのでそれに沿って切ります。同じ要領で、ソフトクリームと森の仲間たちも作ります。色紙を貼る場合は、順番を考えて貼ってね！



裏返して、上にソフトクリーム、下におすもうさんを置きます。ストローを5～6cmに3本切って、ソフトクリームには横に一本おすもうさんにはハの字になるようにセロテープでしっかり貼ってください。この時ストローの穴を潰さないように注意してください。

曲がる部分のギザギザがある場合は使わないでください。



ソフトクリームのストローに毛糸を通します。左から出た毛糸は、おすもうさんのハの字の左のストローへ、右から出た毛糸は右のストローへ通します。抜けていかないように小さく切ったストローを毛糸の両端に結びつけます。

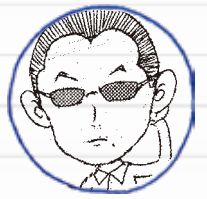


完成！

このように追いかけるものと追いつかれるものを考えて面白いお話を考えてつくってみよう。たとえばウサギがニンジンに追いつくとか、宇宙人が UFO に乗り込む、なんて楽しいかも！できた作品は #福岡市美術館追いかっこ をつけて SNS にアップしてみてくださいね。



学芸員の



早く見せたい！

当館のコレクションの中には収蔵されてから一度も展示されたことのない作品もあり、収蔵庫で「こんな作品があったのか！」と驚かされることもあります。こうした作品を展示の舞台に送り出すのも学芸員の役目。まだ展示したことはないけれど実は面白い、学芸員だけが知っている作品の魅力をこっそり教えます。

文 主任学芸主事（古美術担当）後藤 恒



ラムカムヘン国立博物館（スコークタイ）

**赤**ん坊を胸に抱き、横座りする姿の女性を象った人形のやきものです。上半身に青磁の釉薬が掛かり、やや黄みを帯びたオリーブ色に焼き上がっています。右脚は欠損し、後代の別の材料で補われています。首は折れたものを接合しています。接合面の境界線が接着剤で隠れているため、本来一体のもの同士であったか、または別の頭を接合したのかは判りません。それにしても、見るほどに目が離せなくなる造形ではありませんか。取ってつけたような腕と乳房に、抱かれる赤ん坊は窮屈そうに身体を曲げ、確かに顔を乳房に当てています。注視しないと、その輪郭を視認することは困難です。このように拙速な造形を、ただ拙いと感じるか、絶妙な造形と見るか、あるいはヘタウマと見なすかは、見る人次第。私は、どれも当てはまるように思います。だから目が離せなくなるのです。この人形には、沢山の類例が存在します。赤ん坊の他にも扇や鳥など持物は様々です。タイを代表する窯業地が

あったシーサッチャナーライの一带で大量に焼かれたようで、おびただしい数の出土例が知られます。そして、大部分は首が撥ねられた状態であり、首が付いているものは、殆どが出土後に接合修理されたものです。つまり、故意に首を撥ねてから埋めたことが確実なのです。その理由は、謎に包まれています。出土状況も詳らかにされていませんが、多くが大きな樹木の根元に埋められていたという情報があり、民間の精霊信仰との関わりが指摘されています。災厄を人形に引き受けもらうため？あるいは宗教的な儀礼の後、人形にこもった魂を抜くため？いくつかの推測がなされています。本品は2016年に寄贈されてから、一度も展示室の舞台上がっていません。小品ながら、かくも造形的な見どころ多く、謎を秘めた作品は、美術館の展示においても様々なテーマにおいて出番がありそうで、私は密かに鼻息を荒くしています。



DATA	作品名	せいこだきにんぎょう
	産地	タイ
	時代世紀	15世紀
	サイズ	高さ11.5cm
	コレクション	門田コレクション

# LECTURE

## つきなみ講座

### July - September 2020

毎月1回、当館館員が、自身の仕事、展示、研究、関心ごとについて語ります。聴講無料。直接会場にお入りください。  
※ ご参加の際はマスクの着用をお願いします。

7月

「美術館の教育活動を知っていますか？  
エデュケーションからラーニングへ」



- ◆日時 7/18(土) 15:00-16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 25名)
- ◆講師 崎田明香(学芸員 教育普及担当)

2019年11月のファミリー DAY2019で行った「初めてのベビーカーツアー」の様子

8月

コレクション展  
「芸術とパトロン」をもっと楽しむために



- ◆日時 8/22(土) 15:00-16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 25名)
- ◆講師 宮田太樹(学芸員 古美術担当)

重要文化財 足利義持(1386-1428)《布袋図》室町時代 15世紀

9月

「どこでも美術館がやってきた  
〜どこでも美術館の活動について」



- ◆日時 9/19(土) 15:00-16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員 25名)
- ◆講師 中原千代子(教育普及専門員)

どこでも美術館の様子

# FEATURE

## 夏休み子ども美術館 2020

### みるみるこわい絵の世界

6/30(火) - 8/30(日)

夏といえば怪談やこわいおぼけがつきものですが、美術館にある「こわい」は一味違います。みればみるほどこわい絵、こわい物語がえがかれた絵、はらはら・どきどきする絵、いろんなこわい絵の世界へみなさんをいざないます。

※夏休み子ども美術館 2020「アーティストにきく美術のみみつ〜現代アート編」は諸般の事情により内容を変更して開催いたします。



アンリ・マティス(シャズ) サールをのみこむ 1947年

福岡市美術館ミュージアムイベント協賛企業・団体 /



- No.1, 1981年発行
- No.27, 1985年発行
- No.42, 1988年発行
- No.50, 1989年発行
- No.100, 1997年発行
- No.150, 2008年発行

総館長 中山喜一郎

Esplanade

わが青春の

Esplanade 2000号  
記念エッセイ

あれからもう35年か……。あれと  
いうのは、私がEsplanadeの  
3代目編集長を仰せつかった  
1985年(昭和60年)のこと  
です。当時は年6回(隔月発行)  
で、印刷ができて発送が終わっ  
た頃にはまた次の号の内容を決  
めて原稿依頼を始めるというた  
感じでした。忙しかったなあ。最  
初に手掛けた記事は第2回アジ  
ア美術展の参加国会議特集。写  
真を撮りまくり、各国の代表者  
があります。

なにしろ、いまちよっと忙しい  
ので誰か次号の編集をお願い  
なんて言えない若造(といっ  
ても30歳)でしたから、特別企画  
展の図録の論文を書きながら  
(当然泣きながら)編集したりし  
てました。そのくせ、読者の声  
を募集して掲載したり、九州山  
口の展覧会案内を始めたたり、夏  
休み特集とかいって「美術館周  
辺の見どころ遊びどころ」なん  
て取材がめちゃ大変な記事を書  
いたり、約3年半、要は好き勝  
手やりました。はい。青春の残  
り火をEsplanadeで全部燃やし尽  
くした、というところかな。



グランドマン 浄水ガーデンシティファーストゲートⅡ



グランドマン The大濠



グランドマン 百道浜 OCEAN & FOREST



グランドマン 薬院レジデンス

時と共に美しく、積水ハウスの分譲マンショングランドメゾン

## 「グランドメゾン倶楽部」会員募集中

お問い合わせ 0120-143-377



積水ハウス株式会社

CALENDAR

TIPS

おまけ美術館

オンライン大作戦！やってみました



ぬりえ第二弾より  
「手を洗おうこぶしくん」

リニューアルオープンをしてやっと1年、と思ったときに新型コロナウイルス感染症はやってきました。美術館はもちろん休館。そんな中、休校で学校に行けない子どもたちが、少しでも楽しい時間を過ごせるようにと、これまでファミリーDAYなどで使っていた「ぬりえ」をダウンロードできるようにしました。その反響をきっかけに、大人も子どもも楽しめる「オンライン大作戦！」を展開することにしました。

この「オンライン大作戦！」では、毎週水曜日にブログを、木曜日にYouTubeで動画を、そして土曜日にはFacebookで「おもしろキャプション」による作品紹介を公開。さらに昨年度の企画展「梅田哲也 うたの起源」の動画や、GW中には、Instagramでショップの人気グッズ・こぶしくんが作品紹介をするシリーズを展開したり、キッズスペース森のたねの制作者オーギカナエさんによる楽しい工作動画も公開したりしました。

これは、休館中だけの試みでしたがオンラインプログラムにはまだまだ可能性がありそうです。現在も「オンライン大作戦！」の内容は公開中です。まだご覧になっていない方は、ぜひチェックしてみてください！

主任学芸主事（教育普及担当） 鬼本佳代子



GW中こぶしくんのお出かけ日誌



オーギカナエさん工作動画  
「森のたねのこうまく  
おすもうちんの追いかけて」

特別展示室	コレクション展示室 近現代美術			コレクション展示室 古美術		東光院仏教美術室
	近現代美術室 A	近現代美術室 B	近現代美術室 C	企画展示室	松永記念館室	
	<p>開催中・8/30 夏休みこども美術館2020 みるみるこわい絵の世界</p> <p>9/1・10/25 抽象と具象のあいだ</p>	<p>開催中・8/30 敷敷侃</p> <p>9/1・10/25 菊畑茂久馬「絵画」の世界</p>	<p>開催中・8/30 コレクションハイライト</p>	<p>開催中・8/30 芸術とパトロン</p> <p>9/1・11/15 アンティークどうぶつ園</p>	<p>開催中・8/30 コプト裂と古代オリエント文物</p> <p>9/1・11/15 秋の名品展</p>	<p>開催中・8/30 東光院のみほとけ</p>



2020

7 JULY

8 AUGUST

9 SEPTEMBER

本誌掲載の催しは当館主催のものです。他の催しやイベントの詳細は、当館ウェブサイト随時お知らせします。また、催しの名称、会期などは変更となる場合がございます。

ふくおか応援寄付

ふくおか応援寄付

福岡市美術館が魅力的であり続けるためには、今後とも機会あるごとに美術品を収集することが不可欠であり、そのための資金として皆さまから「ふくおか応援寄付」（ふるさと納税による寄付）を募集しています。福岡市外にお住まいの方で一定額以上の寄付をされた方には返礼品をお送りします。みなさまからの応援をお待ちしています！

利用案内

開館時間 9:30～17:30  
(7月～10月の金・土曜日は9:30～20:00)  
※入館は閉館の30分前まで。

休館日 月曜日/年末年始(12/28～1/4)  
※月曜日が祝日・振替休日の場合は  
その後の最初の平日

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
TEL 092-714-6051 (代表) FAX 092-714-6071  
www.fukuoka-art-museum.jp

福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM

